

環境経営レポート

(期間：令和5年9月～令和6年8月)



高知県発注 国道494号社会資本整備総合交付金工事
高知県 須崎市吾桑

発行年月日 令和 6 年 11 月 30 日

株式会社 道路交安

目 次

1. 組織の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	・ ・ ・ ・ ・ 2
3. 環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・ 4
4. 環境管理組織体制	・ ・ ・ ・ ・ 5
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・ ・ ・ ・ ・ 6
6. 環境経営目標	・ ・ ・ ・ ・ 7
7. 環境経営計画	・ ・ ・ ・ ・ 9
8. 環境経営目標の実績	・ ・ ・ ・ ・ 10
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	・ ・ ・ ・ ・ 16
10. 次年度の取組内容	・ ・ ・ ・ ・ 22
(1) 環境経営目標	
(2) 環境経営計画	
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ ・ 25
12. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・ ・ ・ ・ ・ 26
13. その他の取組	・ ・ ・ ・ ・ 27

発行日： 令和 6 年 11 月 30 日

発行責任者：代表取締役 岡 廣明

次回発行予定： 令和 7 年 10 月 頃

1. 組織の概要

【事業者名】 株式会社 道路交安

【代表者氏名】 代表取締役 岡 廣明

【所在地】 〒781-8104
高知県高知市高須3丁目4番20号

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 岡 進也
連絡先担当者 岡 進也
連絡先 TEL : 088-883-2025
FAX : 088-861-1040
E-mail : oka@douro-kouan.co.jp

【事業活動の内容】

建設業 (道路標識工事・区画線工事・交通安全施設工事など)
建設業許可
許可番号 高知県知事許可(般-4)第6477号
許可年月日 令和4年12月9日
建設業の種類
土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、塗装工事業
石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和59年5月31日
資本金 1000万円

	第35期	第36期	第37期
工事等の件数 (件)	550	486	497
売上高 (百万円)	247	291	280
従業員数 (名)	14	16	16
事業所敷地面積 (m ²)	750	750	750
事業所延べ床面積 (m ²)	280	280	280

従業員数は、 8 月 31 日時点

※第35期 … 令和 3 年9月～令和 4 年8月
第36期 … 令和 4 年9月～令和 5 年8月
第37期 … 令和 5 年9月～令和 6 年8月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社道路交安（全社 全活動 全従業員）

対象事業所 本社 高知県高知市高須 3丁目4番20号

事業活動 道路標識工事、区画線工事、交通安全施設工事

【レポートの対象期間】

令和 5 年 9月～令和 6 年 8月

【環境経営レポートの発行日】

令和 6 年 11月 30日

【作成責任者】

環境管理責任者

岡 進也

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsNO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、週休2日制
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任 つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう	○	間伐材の使用
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、環境教育、清掃活動

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

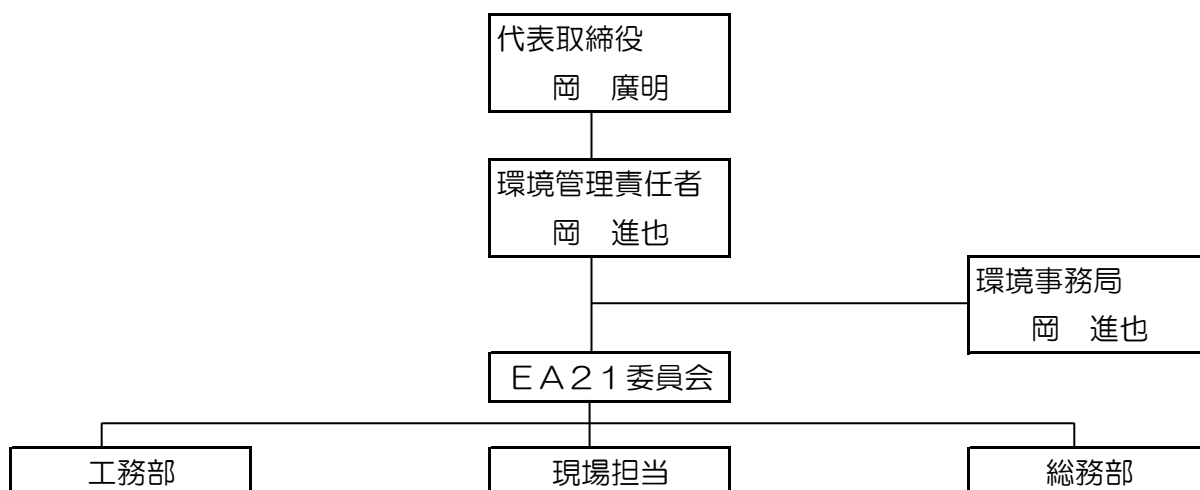
株式会社道路交安は事業活動を通じて地元企業の一員として地域に密着した、地域社会との融和を図り、環境への配慮をし、地域未来の環境影響に対して十分な配慮した活動を自主的積極的に実施することで、地域の風土、歴史文化と調和した環境作りに貢献し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

【環境経営方針】

1. 継続的改善及び汚染の予防（環境負荷の低減）に向けた環境保全活動を推進します。
2. 適用する環境関連法規類及びその他要求事項を遵守します。
3. 事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ①総エネルギー使用量の削減
 - ②CO₂の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ⑤事務用紙使用量の削減
 - ⑥化学物質使用量の把握と使用量の削減
 - ⑦環境に配慮した施工、環境に優しい工事方法を考え実行する。
 - ⑧現場の施工にあたり協力会社に対して、環境保全を求め現場にあたり環境認識の向上に努める。
4. 環境経営方針は全社員に周知徹底し、一般の人が閲覧可能な場所に提示し要求に応じて配布します。
5. 事務用品及び資材は、環境に優しいエコ、グリーン等を使用します。
6. 環境経営レポートを作成し、外部に情報発信します。

制定日 令和3年 5月10日
代表取締役 岡 廣明

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し・指示及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制・環境経営レポートの承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制・環境経営レポートの確認 環境経営の取り組み結果を代表者へ報告 倉庫の管理・点検など
環境事務局	環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進・管理の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の原案作成 環境経営実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境経営レポートの作成・公開
部門長	自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門関連の環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成および運用管理 緊急事態への対応の貯めの手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「エコアクション21 建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

＜全体概況＞

OCO₂排出量が今期45.1tとなり目標の51.0tを12%下回り目標達成となりました。売上高は目標より5%下回っておりますが、原単位で目標を7%下回っており、ともに目標達成となっております。

- 燃料使用量の削減については、軽トラックリヤ垂直ゲート架装、携帯式穴あけ機の購入、アイドリングストップ、省エネ運転の実施を行い、燃料使用量の削減を行いました。
リヤ垂直ゲート架装（2024年2月：1台） 携帯式穴あけ機（2024年3月：1台）
- 電力使用量の削減については、複合機の更新、事務所照明・パソコンの昼休み及び外出時の消灯を行いました。
複合機の更新（2024年7月：1台）
- 廃棄物削減については、コピーの裏紙使用・複合機を更新してミスプリント防止を行いました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）、その他清掃活動（ 2回）実施しております。



軽トラックにリヤ垂直ゲート架装



携帯式穴あけ機の購入



複合機の更新



ロードボランティア活動

＜株式会社道路交通の物質フロー＞（第37期）



6. 環境経営目標

(第37期)

＜総量目標／原単位＞

(1) 単年度目標

項目	総量／原単位	単位	基準年 直近3年間の 平均値	第37期 目標 R5.9-R6.8
＜売上高＞		(百万円)	294	294
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,380	7,200
	原単位	(ℓ/百万円)	25.10	24.49
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,585	8,400
	原単位	(ℓ/百万円)	29.20	28.57
LPGガス使用量	総量	(kg)	2,787	2,700
	原単位	(kg/百万円)	9.48	9.18
電力使用量	総量	(kWh)	8,269	8,100
	原単位	(kWh/百万円)	28.13	27.55
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	52,055	51,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	177.06	173.47
水使用量	総量	(m ³)	22	21
	原単位	(m ³ /百万円)	0.07	0.07
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	112
	原単位	(kg/百万円)	0.39	0.38
産業廃棄物排出量	総量	(t)	75	74
	原単位	(t/百万円)	0.26	0.25
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89	91
化学物質使用量	総量	(kg)	1,082	—
	原単位	(kg/百万円)	3.68	—
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	13	13
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (514件/514件)	100 全工事

* 1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事件数

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ○低騒音、排出ガス対策型重機の使用 | ○充電式インパクトレンチの使用 |
| ○区画線工において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減） | ○バンドソーの使用 |
| ○吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減） | ○充電式電動ハンマーの使用 |
| ○斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減） | ○台車型電源付エボックライトの使用 |
| ○コンクリート2次製品の使用（廃材の低減、工期短縮） | ○自走式手引きライナーの使用 |
| ○吸引機による排水の吸水実施 | |
| ○区画線工において、2缶搭載のプライマー散布機の使用 | |
| ○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用 | |

* 3. 化学物質使用量については、発注者の指示により使用量の抑制はできないため、目標設定は行わず
購入量・使用量を把握し、SDS（安全データシート）を入手し、適切な保管・管理を実施する。

* 4. 産業廃棄物資源化率＝（リサイクル施設に運搬した産業廃棄物排出量／全産業廃棄物排出量）×100

* 5. 直近3年は第34期（R2.9-R3.8）～第36期（R4.9-R5.8）の実績値

(2) 中長期目標

項目	総量／原単位	単位	基準値 直近3年間の 平均値	第38期 目標 R6.9-R7.8	第39期 目標 R7.9-R8.8	第40期 目標 R8.9-R9.8
<売上高>		(百万円)	294	294	294	294
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,380	7,100	7,000	6,900
	原単位	(ℓ/百万円)	25.10	24.15	23.81	23.47
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,585	8,200	8,100	8,000
	原単位	(ℓ/百万円)	29.20	27.89	27.55	27.21
LPGガス使用量	総量	(kg)	2,787	2,650	2,600	2,500
	原単位	(kg/百万円)	9.48	9.01	8.84	8.50
電力使用量	総量	(kWh)	8,269	7,900	7,800	7,700
	原単位	(kWh/百万円)	28.13	26.87	26.53	26.19
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	52,055	50,000	49,000	48,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	177.06	170.07	166.67	163.27
水使用量	総量	(m ³)	22	20	20	20
	原単位	(m ³ /百万円)	0.07	0.07	0.07	0.07
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	110	108	106
	原単位	(kg/百万円)	0.39	0.37	0.37	0.36
産業廃棄物排出量	総量	(t)	75	72	71	70
	原単位	(t/百万円)	0.26	0.24	0.24	0.24
化学物質使用量	総量	(kg)	1,082	—	—	—
	原単位	(kg/百万円)	3.68	—	—	—
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89	93	94	95
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	13	13	13	13
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (514件/514件)	100 全工事	100 全工事	100 全工事

7. 環境経営計画

(第37期)

期間： 令和5年 9月 ～ 令和6年 8月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ、省エネ運転の実施	全員	R6. 8.31
		○燃費の良い車両の使用	全員	R6. 8.31
		○現場への移動は相乗りで行く	全員	R6. 8.31
		○車の利用はできるだけまとめて行う	全員	R6. 8.31
		○通信型ドライブレコーダーの活用	全員	R6. 8.31
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯（帰宅時に記録する）	全員	R6. 8.31
		○空調機の温度設定（夏28℃、冬20℃）	全員	R6. 8.31
		○空調使用時間の記録	全員	R6. 8.31
		○不使用時のパソコンの電源OFF	全員	R6. 8.31
		○残業時間の削減	全員	R6. 8.31
水使用量削減		○節水シール貼付による啓発	全員	R6. 8.31
		○工具等の洗浄時に水を流しっぱなしにしない	全員	R6. 8.31
		○雨水などの有効利用	全員	R6. 8.31
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用（裏紙専用トレーの利用）	全員	R6. 8.31
		○FAXは、必要なものだけを印刷する	全員	R6. 8.31
		○役所等への報告は、できるだけメールで行う	全員	R6. 8.31
		○ペーパーレス化に努める	全員	R6. 8.31
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	全員	R6. 8.31
		○マニフェスト発行による適正処理実施	全員	R6. 8.31
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	全員	R6. 8.31
グリーン購入		○事務用品はできるだけグリーン商品を購入する	総務部	R6. 8.31
		○材料販売はエコ・グリーン商品を推奨する	総務部	R6. 8.31
化学物質使用量削減		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	全員	R6. 8.31
		○使用量を最小に抑える施工方法の徹底 ※区画線工のプライマー散布時	全員	R6. 8.31
社会貢献・環境美化活動		○ロードボランティア活動を実施する。	全員	R6. 8.31
		○各団体主催の清掃活動に参加する。	岡 進也	R6. 8.31
環境負荷の少ない工事実施		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	全員	R6. 8.31
		○区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）	全員	R6. 8.31
		○吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）	全員	R6. 8.31
		○斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）	全員	R6. 8.31
		○吸引機による排水の吸水実施	全員	R6. 8.31
		○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用	全員	R6. 8.31
		○充電式インパクトレンチの使用	全員	R6. 8.31
		○バンドソーの使用	全員	R6. 8.31
		○充電式電動ハンマーの使用	全員	R6. 8.31
		○台車型電源付エボックライトの使用	全員	R6. 8.31
		○自走式手引きライナーの使用	全員	R6. 8.31

8. 環境経営目標の実績

(第37期)

<総量／原単位目標>

(1) 単年度目標の実績

項目	総量／原単位	単位	基準年 直近3年間の 平均値	第37期 目標 R5.9-R6.8	第37期 実績 R5.9-R6.8	実績／目標 (%)	評価
<売上高>		(百万円)	294	294	280	95	
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,380	7,200	6,422	89	○
	原単位	(ℓ/百万円)	25.10	24.49	22.94	94	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,585	8,400	7,019	84	○
	原単位	(ℓ/百万円)	29.20	28.57	25.07	88	○
LPGガス使用量	総量	(kg)	2,787	2,700	2,603	96	○
	原単位	(kg/百万円)	9.48	9.18	9.30	101	×
電力使用量	総量	(kWh)	8,269	8,100	7,957	98	○
	原単位	(kWh/百万円)	28.13	27.55	28.42	103	×
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	52,055	51,000	45,075	88	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	177.06	173.47	160.98	93	○
水使用量	総量	(m ³)	22	21	14	67	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.07	0.07	0.05	71	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	112	96	86	○
	原単位	(kg/百万円)	0.39	0.38	0.34	89	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	75	74	48	65	○
	原単位	(t/百万円)	0.26	0.25	0.17	68	○
化学物質使用量	総量	(kg)	1,082	—	794	—	—
	原単位	(kg/百万円)	3.68	—	2.84	—	—
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89	91	77	85	×
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	13	13	12	92	×
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (514件/514件)	100 全工事	100 (497件/497件)	100	○

第37期目標値：直近3年間（第34期（R2.9-R3.8）～第36期（R4.9-R5.8））の平均値を基準とする。

*1. 購入電力のCO₂ 排出係数は平成30年12月27日公表の四国電力の
調整後排出係数0.535 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

*2. 環境負荷の少ない工事件数

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ○低騒音、排出ガス対策型重機の使用 | ○充電式インパクトレンチの使用 |
| ○区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減） | ○バンドソーの使用 |
| ○吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減） | ○充電式電動ハンマーの使用 |
| ○斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減） | ○台車型電源付きエポックライトの使用 |
| ○吸引機による排水の吸水実施 | ○自走式手引きライナーの使用 |
| ○区画線工事において、2缶搭載のプライマー散布機の使用 | |
| ○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用 | |

*3. 化学物質使用量については、発注者の指示により使用量の抑制はできないため、目標設定は行わず
購入量・使用量を把握し、SDS（安全データシート）を入手し、適切な保管・管理を実施する。

*4. 産業廃棄物資源化率＝（リサイクル施設に運搬した産業廃棄物排出量／全産業廃棄物排出量）×100

*5. 評価は、「○」、「×」等で評価する。

環境経営目標の未達成理由

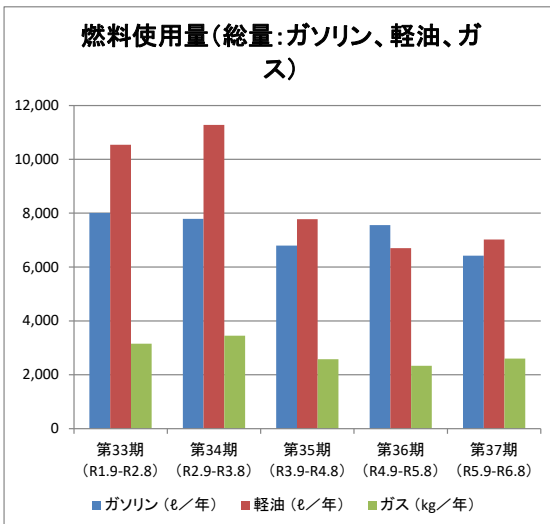
産業廃棄物再資源化率	建設混合廃棄物の量が増加したため。
社会貢献・環境美化活動	天候不良により、清掃イベントが中止となったため。

(2) 環境経営目標の実績の推移

項目	総量／原単位	単位	第33期 実績 R1.9-R2.8	第34期 実績 R2.9-R3.8	第35期 実績 R3.9-R4.8	第36期 実績 R4.9-R5.8	第37期 実績 R5.9-R6.8
<売上高>		(百万円)	233	343	247	291	280
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,006	7,786	6,794	7,559	6,422
	原単位	(ℓ/百万円)	34.36	22.70	27.51	25.98	22.94
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,537	11,276	7,779	6,699	7,019
	原単位	(ℓ/百万円)	45.22	32.87	31.49	23.02	25.07
LPGガス使用量	総量	(kg)	3,155	3,453	2,577	2,331	2,603
	原単位	(kg/百万円)	13.54	10.07	10.43	8.01	9.30
電力使用量	総量	(kWh)	7,960	8,309	8,401	8,096	7,957
	原単位	(kWh/百万円)	34.16	24.22	34.01	27.82	28.42
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	59,483	61,962	48,059	46,143	45,075
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	255.29	180.65	194.57	158.57	160.98
水使用量	総量	(m ³)	24	26	21	19	14
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.08	0.09	0.07	0.05
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	124	128	103	110	96
	原単位	(kg/百万円)	0.53	0.37	0.42	0.38	0.34
産業廃棄物排出量	総量	(t)	62	126	61	39	48
	原単位	(t/百万円)	0.27	0.37	0.25	0.13	0.17
化学物質使用量	総量	(kg)	1,495	1,684	599	963	794
	原単位	(kg/百万円)	6.42	4.91	2.43	3.31	2.84
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89	95	88	82	77
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	14	12	12	12	12
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (597件/597件)	100 (506件/506件)	100 (550件/550件)	100 (486件/486件)	100 (497件/497件)

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、ガス）
単位：ℓ／年

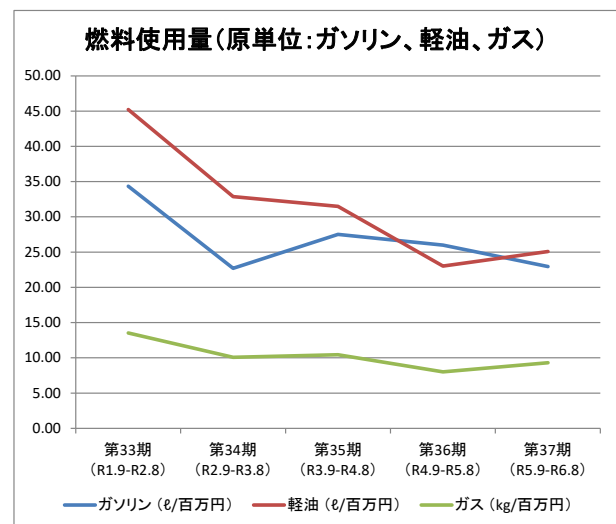
年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	ガス (kg／年)
第33期 (R1.9-R2.8)	8,006	10,537	3,155
第34期 (R2.9-R3.8)	7,786	11,276	3,453
第35期 (R3.9-R4.8)	6,794	7,779	2,577
第36期 (R4.9-R5.8)	7,559	6,699	2,331
第37期 (R5.9-R6.8)	6,422	7,019	2,603



第34期をピークに減少から横ばい傾向を示す。

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、ガス）
単位：ℓ／百万円

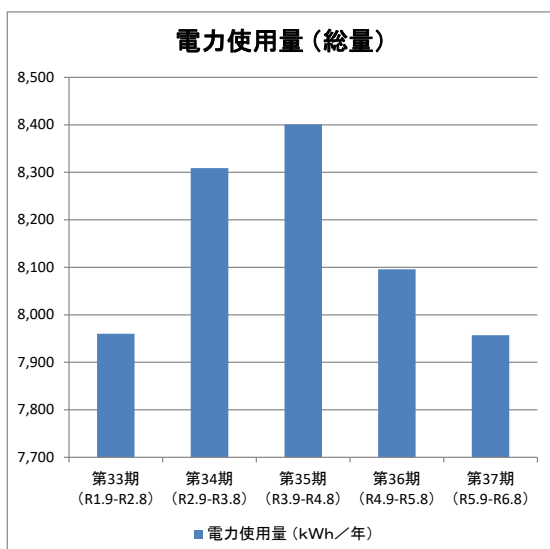
年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	ガス (kg／百万円)
第33期 (R1.9-R2.8)	34.36	45.22	13.54
第34期 (R2.9-R3.8)	22.70	32.87	10.07
第35期 (R3.9-R4.8)	27.51	31.49	10.43
第36期 (R4.9-R5.8)	25.98	23.02	8.01
第37期 (R5.9-R6.8)	22.94	25.07	9.30



第34期を除いて総量と原単位に相関性がみられる。

電力使用量（総量：kWh／年）

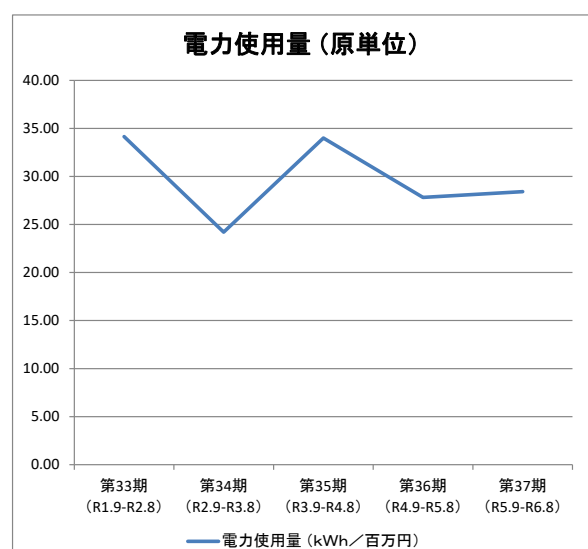
年度	電力使用量 (kWh／年)
第33期 (R1.9-R2.8)	7,960
第34期 (R2.9-R3.8)	8,309
第35期 (R3.9-R4.8)	8,401
第36期 (R4.9-R5.8)	8,096
第37期 (R5.9-R6.8)	7,957



第35期をピークに減少傾向を示す。

電力使用量（原単位：kWh／百万円）

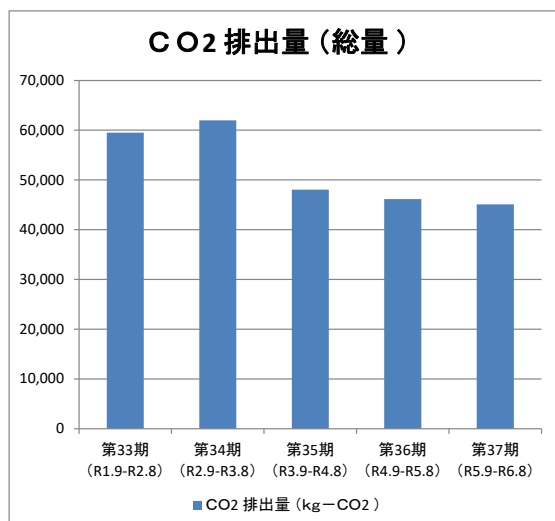
年度	電力使用量 (kWh／百万円)
第33期 (R1.9-R2.8)	34.16
第34期 (R2.9-R3.8)	24.22
第35期 (R3.9-R4.8)	34.01
第36期 (R4.9-R5.8)	27.82
第37期 (R5.9-R6.8)	28.42



総量と原単位に相関性はみられない。

CO₂ 排出量（総量：（k g－CO₂）

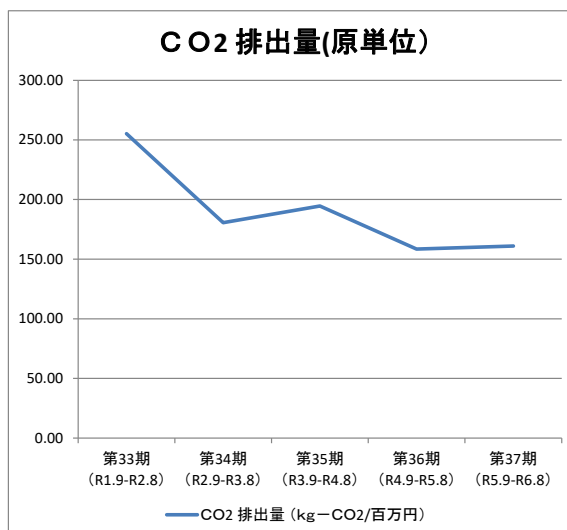
年度	CO ₂ 排出量 (k g－CO ₂)
第33期 (R1.9-R2.8)	59,483
第34期 (R2.9-R3.8)	61,962
第35期 (R3.9-R4.8)	48,059
第36期 (R4.9-R5.8)	46,143
第37期 (R5.9-R6.8)	45,075



第34期をピークに減少から横ばい傾向を示す。

CO₂ 排出量（原単位：k g－CO₂/百万円）

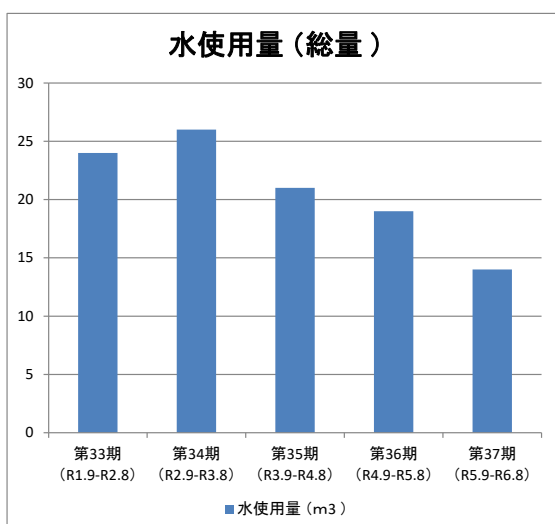
年度	CO ₂ 排出量 (k g－CO ₂ /百万円)
第33期 (R1.9-R2.8)	255.29
第34期 (R2.9-R3.8)	180.65
第35期 (R3.9-R4.8)	194.57
第36期 (R4.9-R5.8)	158.57
第37期 (R5.9-R6.8)	160.98



減少傾向を示し、総量と原単位に相関性はみられない。

水使用量(総量：m3)

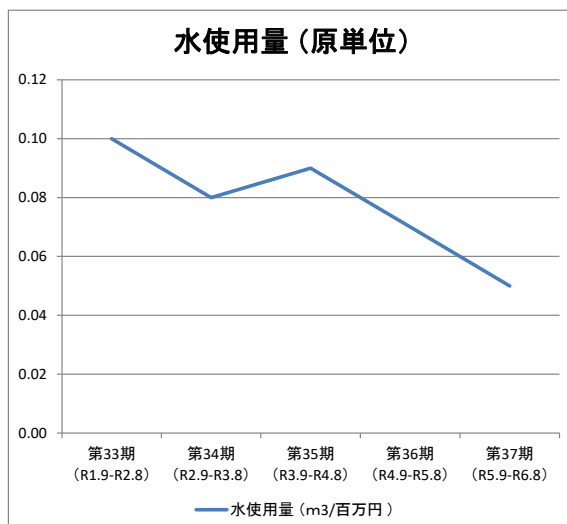
年度	水使用量 (m3)
第33期 (R1.9-R2.8)	24
第34期 (R2.9-R3.8)	26
第35期 (R3.9-R4.8)	21
第36期 (R4.9-R5.8)	19
第37期 (R5.9-R6.8)	14



第34期をピークに減少傾向を示す。

水使用量(原単位：m3/百万円)

年度	水使用量 (m3/百万円)
第33期 (R1.9-R2.8)	0.10
第34期 (R2.9-R3.8)	0.08
第35期 (R3.9-R4.8)	0.09
第36期 (R4.9-R5.8)	0.07
第37期 (R5.9-R6.8)	0.05



第34期を除いて総量と原単位に相関性がみられる。

廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）

単位：一般廃棄物 kg／年

単位：産業廃棄物 t／年

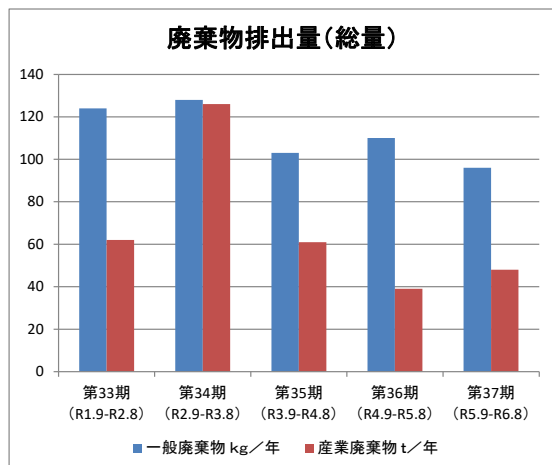
年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
第33期 (R1.9-R2.8)	124	62
第34期 (R2.9-R3.8)	128	126
第35期 (R3.9-R4.8)	103	61
第36期 (R4.9-R5.8)	110	39
第37期 (R5.9-R6.8)	96	48

廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）

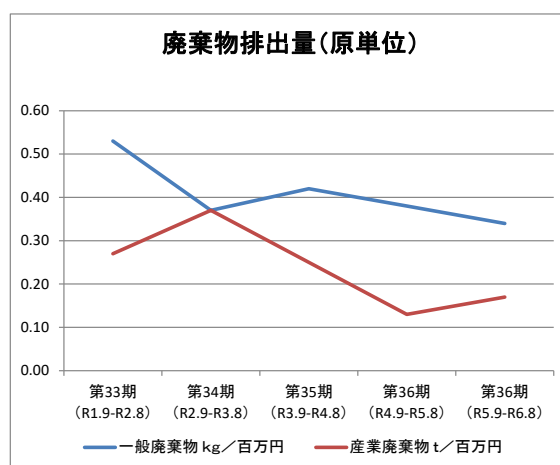
単位：一般廃棄物 kg／百万円

単位：産業廃棄物 t／百万円

年度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
第33期 (R1.9-R2.8)	0.53	0.27
第34期 (R2.9-R3.8)	0.37	0.37
第35期 (R3.9-R4.8)	0.42	0.25
第36期 (R4.9-R5.8)	0.38	0.13
第37期 (R5.9-R6.8)	0.34	0.17



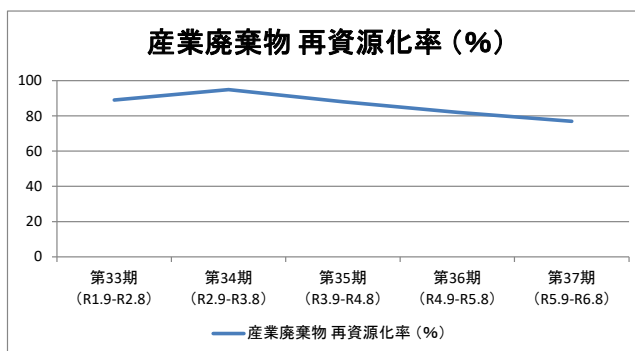
第34期をピークに低下傾向にある。



第34期を除いて総量と原単位に相関性がみられる。

産業廃棄物再資源化率（％）

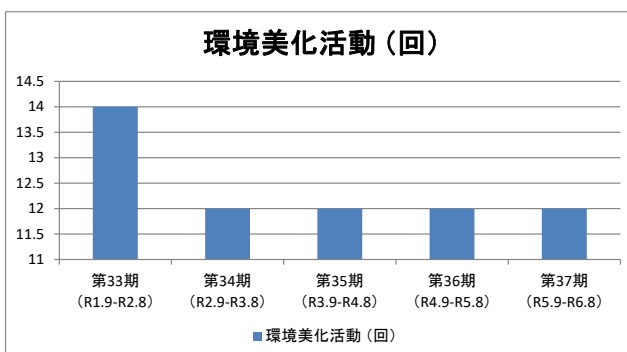
年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
第33期 (R1.9-R2.8)	89
第34期 (R2.9-R3.8)	95
第35期 (R3.9-R4.8)	88
第36期 (R4.9-R5.8)	82
第37期 (R5.9-R6.8)	77



第34期をピークに低下傾向にある。

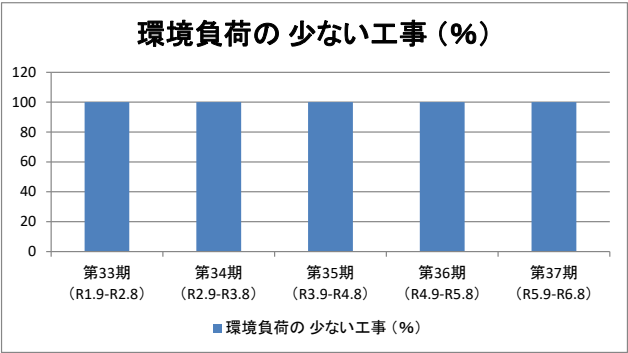
環境美化活動（回）

年度	環境美化活動 (回)
第33期 (R1.9-R2.8)	14
第34期 (R2.9-R3.8)	12
第35期 (R3.9-R4.8)	12
第36期 (R4.9-R5.8)	12
第37期 (R5.9-R6.8)	12



環境負荷の少ない工事（％）

年度	環境負荷の 少ない工事 （％）
第33期 (R1.9-R2.8)	100
第34期 (R2.9-R3.8)	100
第35期 (R3.9-R4.8)	100
第36期 (R4.9-R5.8)	100
第37期 (R5.9-R6.8)	100



通年を通して100%で推移している。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

(第37期)

期間： 令和 5 年 9 月 ～ 令和 6 年 8 月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量	燃料使用量	○アイドリングストップ、省エネ運転の実施	出来ている	待機中のエンジン停止、エアコンの制限、相乗り等、燃料の削減に努めている。 通信型ドライブレコーダーを導入し、車両運行状況の見える化を図ることにより、ムダのない車両利用を行っている。	燃費の良い車両への乗り換えを検討する。 適切な車両利用計画を立てる。
削減	削減	○燃費の良い車両の使用	良く出来ている		
		○現場への移動は相乗りで行く	出来ている		
		○車の利用はできるだけまとめて行う	出来ている		
		○通信型ドライブレコーダーの活用	出来ている		
		電力使用量	○昼休み・帰宅時の消灯（帰宅時に記録する）	良く出来ている	退社時チェックリストを作成し消灯確認を記録し消し忘れ等を防止し、電力の削減に努めている。 空調機の温度設定は、もう少し取り組みが必要である。 現場が遠方のため、残業時間が増えている。
削減	○空調機の温度設定（夏27℃±1℃、冬26℃±2℃）		もう少し		
	○空調使用時間の記録		出来ている		
	○不使用時のパソコンの電源OFF		出来ている		
	○残業時間の削減		もう少し		
用水使用量削減 （排水量削減）		○節水シール貼付による啓発	出来ている	手洗い時の水量制限、工具等の洗浄はバケツに水を貯めて行う等、節水を心掛けている。	今後も節水に努める。 雨水などの利用を検討する。
		○工具等の洗浄時に水を流しっぱなしにしない	出来ている		
		○雨水などの有効利用	もう少し		
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用（裏紙専用トレイの利用）	良く出来ている	各自が積極的に裏紙を使用している。	用紙については、可能な限り書類の電子化・ペーパーレス化を行う。
		○FAXは、必要なものを印刷する	出来ている		
		○役所等への報告は、できるだけメールで行う	出来ている		
		○ペーパーレス化に努める	出来ている		
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	出来ている	リサイクルできるものを選別している。	今後も分別徹底に努める。
		○マニフェスト発行による適正処理実施	出来ている	廃棄物の適正処理も行われている。	
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する			
		グリーン購入		○事務用品はできるだけグリーン商品を購入する	
		○材料販売はエコ・グリーン商品を推奨する	出来ている		
化学物質使用量削減		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	出来ている	施工前に使用量の確認を行っている。	今後も削減に努める。
		○使用量を最小に抑える施工方法の徹底※区画線のプライマー散布時	出来ている		
社会貢献・環境美化活動		○ロードボランティア活動を実施する。	出来ている	ロードボランティアを年10回実施。	今後も実施・参加する。
		○各団体主催の清掃活動に参加する。	出来ている	各団体主催の清掃活動へ年2回参加。	
環境負荷の少ない工事実施	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用		出来ている	計画通り実施されている。	今後も継続する。
	○区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）		出来ている	計画通り実施されている。	
	○吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）		出来ている	計画通り実施されている。	
	○斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）		出来ている	計画通り実施されている。	
	○吸引機による排水の吸水実施		出来ている	発生する排水は、吸引機等で回収し汚泥として適正に処理されている。	
	○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用		出来ている	計画通り実施されている。	
	○充電式インパクトレンチの使用		出来ている	計画通り実施されている。	
	○バンドソーの使用		出来ている	計画通り実施されている。	
	○充電式電動ハンマーの使用		出来ている	計画通り実施されている。	
	○台車型電源付エポックライトの使用		出来ている	計画通り実施されている。	
	○自走式手引きライナーの使用		出来ている	計画通り実施されている。	

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



軽トラックリヤ垂直ゲート架装

2024年2月に軽トラックにリヤ垂直ゲート架装しました。
今までは、発電機などの機械の積み下ろしを2名以上で行っていたが、1名でできるようになり、作業効率UPとなっています。



携帯式穴あけ機の購入

2024年3月に携帯式穴あけ機 1 台を購入しました。
材料加工作業能力が向上し、作業効率UPとなっています。



社内掲示

エコ運転推進の為、エコドライブ10のポスターを会社の出入口付近に掲示し、社用車の燃料使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み（12時～13時）消灯し、節電に努めています。



複合機の更新

2024年7月に複合機1台を購入しました。
印刷機能が向上し、作業効率UPとなっています。
留め置き印刷機能が付いており、印刷前に画像などで確認
できるため、放置プリントの抑止、ミスプリントによる
無駄なコストを削減できています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

(2016年9月設置)

本社事務所内の水道蛇口(4ヶ所)に節水シールを
貼付け、啓発を図っています。

3. 廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱：2015年4月設置，2018年8月再設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用
を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、裏紙専用トレイ設置

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また裏紙専用
トレイを設置することにより、年間でコピー用紙の使用量
を削減しました。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入
事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、ノート類
ボールペン、シャープペン等

5. 環境負荷の少ない工事実施



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：令和5年度奈半利管内安全施設整備（その2）工事
工事期間：2023年10月17日 ～2024年3月29日
工事場所：高知県安芸郡東洋町～安芸郡芸西村
低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。
工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



区画線工事において溶袋式ライン材の使用

工事名称：全区画線工事
工事期間：
工事場所：
溶袋式ライン材を使用する事で、袋と材料を一緒に溶かし使用する事により廃棄物の削減に努めました。



吸水ローラー使用による路面吸水実施

工事名称：全区画線工事
工事期間：
工事場所：
吸水ローラー使用による路面吸水を実施する事で、ガス使用量の低減に努めました。



斜め切りスリッターの使用

工事名称：全区画線工事

工事期間：

工事場所：

斜め切りスリッターを使用する事で、ガムテープ等の廃棄物の低減に努めました。



2缶搭載のプライマー散布機の使用

工事名称：全区画線工事

工事期間：

工事場所：

2缶搭載のプライマー散布機を使用する事で、作業効率が向上し、燃料使用量の低減に努めました。



濁水防止対策の実施

工事名称：令和5年度奈半利管内安全施設整備（その2）工事

工事期間：2023年10月17日 ～2024年3月29日

工事場所：高知県安芸郡東洋町～安芸郡芸西村

コンクリート削孔時に発生する排水を吸引機で吸水し、工事場所周辺が汚れないよう努めました。



集塵式ロータリーハンマードリルの使用

工事名称：令和5年度奈半利管内安全施設整備（その2）工事

工事期間：2023年10月17日 ～2024年3月29日

工事場所：高知県安芸郡東洋町～安芸郡芸西村

集塵式ロータリーハンマードリルを使用する事で、穿孔時の粉塵飛散を防止し、施工場所までの工具の持ち運びを軽減し作業効率の向上に努めました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

自社周辺及び県道桂浜宝永線他のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。

（年10回実施：2022年9月～2023年8月）

7. 社内教育訓練

（1）定期勉強会



定期勉強会

工事の安全教育の中で、環境保護・施工手段の講義を行いました。

（講師：岡 進也）

（2）緊急事態訓練



消火訓練（2024年4月22日）

消火器の点検・置き場所確認

使用方法の確認

火災時の避難訓練

8. 環境にやさしい買い物の取組み



環境にやさしい買い物キャンペーン2023への参加

- ・取組み期間：2023年10月1日～11月30日
- ・参加者数：5名
- ・レジ袋の辞退回数合計：197
- ・生鮮食品は産地が近いものを選んだ回数合計：79
- ・消費・賞味期限が近いものを購入した回数合計：52
- ・キャンペーン参加によるCO2削減量：25.32kg

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(第38期)

<総量／原単位目標>

(1) 単年度目標

項目	総量／原単位	単位	基準年 直近3年間の 平均値	第38期 目標 R6.9-R7.8
<売上高>		(百万円)	273	273
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,925	6,800
	原単位	(ℓ/百万円)	25.37	24.91
軽油使用量	総量	(ℓ)	7,166	7,000
	原単位	(ℓ/百万円)	26.25	25.64
LPGガス使用量	総量	(kg)	2,504	2,500
	原単位	(kg/百万円)	9.17	9.16
電力使用量	総量	(kWh)	8,151	8,000
	原単位	(kWh/百万円)	29.86	29.30
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	46,426	45,500
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	170.06	166.67
水使用量	総量	(m ³)	18	18
	原単位	(m ³ /百万円)	0.07	0.07
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	103	101
	原単位	(kg/百万円)	0.38	0.37
産業廃棄物排出量	総量	(t)	49	48
	原単位	(t/百万円)	0.18	0.18
化学物質使用量	総量	(kg)	785	—
	原単位	(kg/百万円)	2.88	—
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	83	85
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	12	12
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (511件/511件)	100 全工事

*1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、令和5年9月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.464 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

*2. 環境負荷の少ない工事件数

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）
- 吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）
- 斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）
- コンクリート2次製品の使用（廃材の低減、工期短縮）
- 吸引機による排水の吸水実施
- 区画線工事において、2缶搭載のプライマー散布機の使用
- 充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用

- 充電式インパクトレンチの使用
- バンドソーの使用
- 充電式電動ハンマーの使用
- 台車型電源付エポックライトの使用
- 自走式手引きライナーの使用

*3. 化学物質使用量については、発注者の指示により使用量の抑制はできないため、目標設定は行わず
購入量・使用量を把握し、SDS（安全データシート）を入手し、適切な保管・管理を実施する。

*4. 産業廃棄物資源化率＝（リサイクル施設に運搬した産業廃棄物排出量／全産業廃棄物排出量）×100

*5. 直近3年は第35期（R3.9-R4.8）～第37期（R5.9-R6.8）の実績値

(2) 中長期目標

項目	総量／原単位	単位	基準値 直近3年間の 平均値	第39期 目標 R7.9-R8.8	第40期 目標 R8.9-R9.8	第41期 目標 R9.9-R10.8
<売上高>		(百万円)	273	273	273	273
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,925	6,600	6,500	6,400
	原単位	(ℓ/百万円)	25.37	24.18	23.81	23.44
軽油使用量	総量	(ℓ)	7,166	6,900	6,700	6,600
	原単位	(ℓ/百万円)	26.25	25.27	24.54	24.18
LPGガス使用量	総量	(kg)	2,504	2,400	2,350	2,300
	原単位	(kg/百万円)	9.17	8.79	8.61	8.42
電力使用量	総量	(kWh)	8,151	7,800	7,700	7,600
	原単位	(kWh/百万円)	29.86	28.57	28.21	27.84
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	46,426	45,000	44,000	43,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	170.06	164.84	161.17	157.51
水使用量	総量	(m ³)	18	17	16	15
	原単位	(m ³ /百万円)	0.07	0.06	0.06	0.05
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	103	100	99	98
	原単位	(kg/百万円)	0.38	0.37	0.36	0.36
産業廃棄物排出量	総量	(t)	49	47	46	45
	原単位	(t/百万円)	0.18	0.17	0.17	0.16
化学物質使用量	総量	(kg)	785	—	—	—
	原単位	(kg/百万円)	2.88	—	—	—
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	83	86	88	90
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	12	12	12	12
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (511件/511件)	100 全工事	100 全工事	100 全工事

10. 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画

(第38期)

期間： 令和 6 年 9 月 ～ 令和 7 年 8 月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ、省エネ運転の実施	全員	R7.8.31
		○燃費の良い車両の使用	全員	R7.8.31
		○現場への移動は相乗りで行く	全員	R7.8.31
		○車の利用はできるだけまとめて行う	全員	R7.8.31
		○通信型ドライブレコーダーの活用	全員	R7.8.31
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯（帰宅時に記録する）	全員	R7.8.31
		○空調機の温度設定（夏27℃±1℃、冬26℃±2℃）	全員	R7.8.31
		○クールビズ・ウォームビズを実行する	全員	R7.8.31
		○不使用時のパソコンの電源OFF	全員	R7.8.31
		○残業時間の削減	全員	R7.8.31
水使用量削減		○節水シール貼付による啓発	全員	R7.8.31
		○工具等の洗浄時に水を流しっぱなしにしない	全員	R7.8.31
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用(裏紙専用トレイの利用)	全員	R7.8.31
		○FAXは、必要なものだけを印刷する	全員	R7.8.31
		○役所等への報告は、できるだけメールで行う	全員	R7.8.31
		○ペーパーレス化に努める	全員	R7.8.31
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	全員	R7.8.31
		○マニフェスト発行による適正処理実施	全員	R7.8.31
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託する	全員	R7.8.31
化学物質使用量削減		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	全員	R7.8.31
		○使用量を最小に抑える施工方法の徹底 ※区画線工のプライマー散布時	全員	R7.8.31
社会貢献・環境美化活動		○ロードボランティア活動を実施する。	全員	R7.8.31
		○各団体主催の清掃活動に参加する。	岡 進也	R7.8.31
環境負荷の少ない工事実施		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	全員	R7.8.31
		○区画線工事において溶袋式ライン材を使用(ごみの低減)	全員	R7.8.31
		○吸水ローラー使用による路面吸水実施(ガス使用量低減)	全員	R7.8.31
		○斜め切りスリッターの使用(ガムテープ等のごみの低減)	全員	R7.8.31
		○吸引機による排水の吸水実施	全員	R7.8.31
		○区画線工事において、2缶搭載のプライマー散布機の使用 ※	全員	R7.8.31
		○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用	全員	R7.8.31
		○充電式インパクトレンチの使用	全員	R7.8.31
		○バンドソーの使用	全員	R7.8.31
		○充電式電動ハンマーの使用	全員	R7.8.31
		○台車型電源付エボックライトの使用	全員	R7.8.31
		○自走式手引きライナーの使用	全員	R7.8.31

※新規活動

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約書	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場担当者	○	令和6年9月15日
	第12条の三 7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	総務部	○	令和6年6月30日
	規則第8条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	岡 進也	○	令和6年9月15日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
振動規制法	第5条	○振動規制基準の遵守	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	その都度	現場担当者	○	令和6年9月15日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和5年9月1日より令和6年8月31日まで、環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって、関係当局より違反等の指摘はありません。

外部からの環境に関する訴訟及び苦情・要望等はありませんでした。

代表者
岡 廣 明

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

- 定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等への違反訴訟はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 今期以内の問題点の是正はありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 自己管理・自己チェックを行い、より確実に進めていきます。 ＜改善提案＞ 今後も環境活動計画をスケジュール通りに実行していく。 ＜エネルギー使用量におけるひと月の使用量が平均値の3割を超えた理由について＞ 電力（8月）→ 酷暑におけるエアコン使用や空調服のバッテリー充電による増加 ガソリン（8月）→ 現場におけるガソリン車及び発電機等の使用量増加 軽油（2月、3月）→ 工事量の増加に伴うトラックの使用頻度の増加 LPGガス（12月～3月）→ 区画線工事量の増加に伴いLPGガス使用量の増加				【環境経営方針】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
				環境経営方針は、社員に浸透しており変更の必要性はない。	
				【環境経営目標・環境経営計画】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
				環境負荷の少ない工事は、施工計画書・工事日報等にて確認を行い、よくできている。 CO ₂ 発生抑制に関しては、乗り合わせや施工でのムダを省く事で、抑制に努めている。	
【目標・環境活動計画の達成状況】					
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント （目標値、活動計画に対するコメント）		
CO ₂ 排出量	○	○	減少から横ばい		
水使用量	○	○	減少から横ばい		
一般廃棄物排出量	○	○	減少から横ばい		
産業廃棄物排出量	○	○	減少から横ばい		
産業廃棄物再資源化率	×	○	目標値は少し下回っているが、活動計画は概ね出来ている		
環境美化活動	×	○	目標値は少し下回っているが、活動計画は概ね出来ている		
環境負荷の少ない工事	○	○	目標達成出来ている		
＜改善提案＞ 現場での再利用など、ごみの発生量を減らすように工夫し建設混合廃棄物の発生量を減らす。					
【周囲の変化の状況】				【総括】	
①外部コミュニケーション記録より 外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 今期、当社の事業に関する環境関連法規等の改定はありませんでした。 ＜改善提案＞ 特になし				環境経営目標の達成率は、全体的に目標達成となっている。 CO ₂ 排出量は、目標値に対して12%減となっており、3期連続で、目標達成となっていて、今期の活動も評価できる。 環境に配慮した施工については、小さなことでもよいので、一人一人が工夫や提案をもって日々作業を行うよう促していく。 来期も「思いやり」「気配り」「目配り」をモットーとして、会社全体でエコアクション21に取り組む。	
代表者が自ら得た情報					
上水道（H23年8月設置） LED電球（H24年5月設置） 環境の杜こうちを応援 公共交通エコポイント（H24年5月～R3年5月） NPO法人エコアクション21こうち入会（H26年2月） 高知クリーン推進会入会（H29年6月）					

13. その他の取組

1. 自然環境保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
NPO法人環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2012年5月～ 2024年5月

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
88クリーンウオーク	2024年8月

3. 協会清掃活動

支援イベント名	実施年月
「土木の日」の道路清掃	2023年11月